



私が下の子を抱っこしたり誉めたりすると、やきもちをやいたりすねたりして困っています。  
下の子どもが生まれた時、上の子どもの対応で気をつける事は？

**A** 「弟、妹の誕生」は、嬉しいことなのですが、上の子にとっては、家族の中での自分の位置や、自分への愛情の変化に不安を感じ、ちょっと複雑な心境になるようです。  
その気持ちを受け止め、自分はこれまでと同じように愛されていると安心させてあげることが大切です。やきもちをやき赤ちゃんと同じようにして欲しがる時は、できるかぎり赤ちゃんと同じ扱いをしてあげてください。  
赤ちゃんのお世話のお手伝いをしてもらった時には、「ありがとう。助かったわ。赤ちゃんも喜んでるわね」の言葉を伝えることで安定し、少しずつお兄さん、お姉さんの気持ちが芽生えてくるでしょう。



公園に同じ年頃の子がいても黙々と一人で遊んでいます。友達はできるでしょうか？

**A** 子どもは、好きな遊びを工夫しじっくり遊ぶことで色々なことを学び、力をつけていきます。それができているのは嬉しいことです。  
今は、一人遊びが中心でまだ他の子への関心や他の子との遊びに興味に向いていないのか、引っ込み思案で一緒に遊べないのかもしれませんが。  
ただ、友達とのかかわりを持たせていきたい年齢でもあるので、無理強いはせず大人が間に入って「遊ぼう」「これ貸して」などと言葉を添え、一緒に遊ぶきっかけを作ってあげましょう。楽しさがわかってくると、自分から友達と遊ぶようになっていくことでしょう。



ありもしないことを本当にあったことのように言ったり、行ってもいないのに「〇〇に行ったんだ」と話したり、すぐわかるうそをつきます。うそをつくなで親として許せないのですが…。

**A** 3歳の頃は、空想と現実の区別がつかないため、自分の考えたことや想像したこと、自分の希望など、本当でないこと、やってもらえないことをついつい自分がしたかのように話してしまいます。  
この年齢のいわゆる“うそ”というのは、人をだますためや自分を守るためのうそではないので、心配はありません。  
「〇〇ちゃんがそう思ったの?」「そうだったらいいわね」と、子どもの気持ちを受け入れてあげるのが良いでしょう。



「ウンチ」「オシッコ」「オレ」「ばかやろう」など、大人がいやがる汚い言葉や乱暴な言葉をおもしろがって使い、注意するとよけいに使います。どうかかわってあげたいでしょうか？

**A** 周りの反応をおもしろがって、いろいろな言葉を使いたがる時期ですよ。また、乱暴な言葉を使うことで自分が強く大きくなったような気になるようです。  
このような時、使うことを禁止したり怒ったりすると、よけいに使いたがります。  
「そんなこと言われるといやだな」と、言葉少なく注意してあげましょう。

